

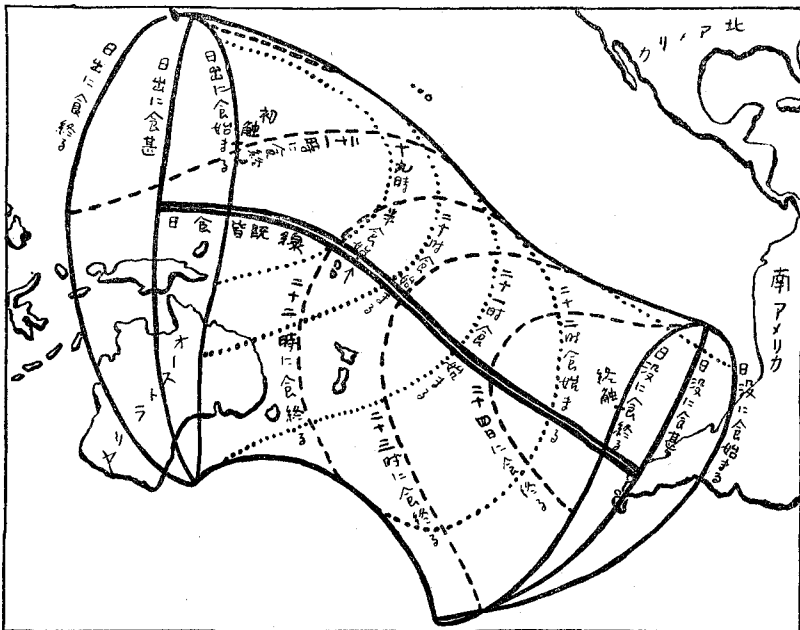
本年十月の日食と月蝕

天文年鑑に據れば、本年十月八日早曉の西天に部分月蝕が見える筈。しかも之れが本年中に日本で見える唯一の月蝕である。時刻は(日本中央標準時)

始まりが	10月8日午前3時46分2
食甚は	同 同 同 4 6分5
終りは	同 同 同 4 27分0

である。しかし食分は僅かに0.029即ち二厘九毛に過ぎないから、肉眼ではとても見られないだらう。

十月二十二日早朝には日食がある。之れが本年の日食の第二回目であるが、第一回の四月二十九日のは、北米で見え、多くは金環食で、只ごく狭い範圍で一秒時ばかりの皆既相が見えたに過ぎなかつた。米國では、場所柄だけに、可なり社會も騒ぎ、學者の觀測も行はれたが、雨や曇りの所も



あつたと報ぜられてゐる。こんどの十月のは、立派な皆既食で、皆既の時間も一分五十幾秒にわたるのであるが、あいにく、見える場所が殆んど全く南太平洋の波の上であつて、只僅かにニワフー Niuafu といふ小島だけが観測地として利用し得るに止まる。それでも、棄てゝは置けないので、米國の海軍天文臺などからは、夏の始め、既に観測隊が此の島へ向け出發した。又、濠洲ニウジーランドの天文家も観測に出かける筈だといふことを聞いた。ニワフー島は英領で、

西徑 $175^{\circ} 33'$ 南緯 $15^{\circ} 33'$

の位置にあり、皆既日食の長さは1分38秒ぐらゐ、其の時刻は、

其地の地方時で、 十月二十一日午前9時9分

日本の中央標準時では、日 二十二日午前5時51分である

ちなみに、此の日食の部分食は濠洲から南米西岸までにわたる南太平洋一圓で見え、尙ほ、南極でも、又我が國委任統治のカロリン群島あたりでも見える。(附圖を見られよ)

同好會十人名物男

○ K 生

創立滿十年の紀念として下の十人を選びました。御賛成願ひます。(ABC順)

- | | |
|------------|----------------------------|
| 五 藤 齊 三氏 | 望遠鏡で金をもうけ、同好會に献身する人。東京支部長 |
| 池 田 政 晴氏 | 太陽觀測で眼を焼き、同好會の財布の主となる、植物學者 |
| 改 發 香 鳴氏 | 實業家から哲學者となり、天文寫眞界の重鎮となる |
| 古 賀 和 吉氏 | 同好會の九州探題、星圖の主、三味線の名手。 |
| 見 元 了氏 | 天體觀望の最適地臺灣を我物顔の天文家、南十字の番人 |
| 三 澤 勝 衛氏 | 太陽黒點の主、東洋のアルフ・アルファ・多忙そのもの |
| 水 野 千 里氏 | 岡山天文王、北斗の示導者、天文圖書館長 |
| 中 村 要氏 | 觀測の大家主。反射鏡の主。日本の寶 |
| 西 岡 永 太 郎氏 | 滿洲天文王兼天文狂 |

以 上